



編集・発行： 千曲市少年育成センター

TEL 273-1111

事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内

内線 4114

地域で子どもの安全を守る

千曲市には小学校が9校あります。そのすべてに地域で子どもの安全を守る組織があり、ボランティアとして、多くの方が活動されています。

朝、通学路の交差点などで、黄色い着衣や旗などで子どもたちの登校を見守ったり、横断歩道での安全を確保したりしているボランティアさんを見たことがある、という方もいらっしゃると思います。

少年補導委員（ちくま青パト隊）は主に放課後に活動していますが、「子どもの安全を守る」という点では同じです。

今回は、「地域で子どもの安全を守る会」についてお知らせします。

小学校区ごとの守る会紹介は2・3ページへ！



少年補導委員より

戸倉地区 少年補導委員

朝、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。子どもたちから「おはようございます。」

と、あいさつされると、爽やかな気持ちになり、また、元氣をもらえます。同時に、親御さんの躰が行き届いているのだな、学校では先生がしっかり教えてくださっているのだな、と想像しています。

近年、人口減少が大きな問題となっています。子どもは国の宝です。そんな子どもたちの列に車が突っ込んだというようなニュースを見ると、本当に心が痛みます。

私たちの地域では、朝の通勤時間帯に国道が渋滞するため、区内に迂回して何台もの車がスピードを出して通り抜けていく毎日です。区から市や警察に相談していると聞きましたが、相変わらず迂回車は減りません。何か対策はないのでしょうか。

戸倉小学校の校長先生からも、

長野県内で、過去五年間に登下校中の小中学生の事故が二〇〇件以上あったというお話を聞きました。驚きました。事故に巻き込まれる子どもが一人でも減るように、これからパトロールを続けていきたいと思っています。

まだまだ暑い日が続きますが、子どもたちには元気に登校してもらいたいと思います。



第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 「おはよう」と挨拶かわし 増す笑顔 —

地域で子どもの安全を守る会

千曲市の各小学校区では、今から20年ほど前、平成16年～18年にかけて、子どもの安全を守る会が組織され、登下校を中心に子どもたちを見守るボランティア活動が行われています。いずれも地域の住民の方が、子どもたちの安全に心を寄せ、健全な育ちを願って自主的に行っている活動です。

小学校区ごとの 守る会の名称

屋代	屋代安全・安心連絡会
東	東部地区子供の安全を守る会
埴生	笑顔あふれる埴生っ子を育てる会
治田	治田の子どもを守る会
八幡	八幡っ子支援委員会
戸倉	戸倉地区子どもを守る会
更級	更級地区子どもの安全を守る会
五加	五加地区子どもを守る会
上山田	上山田の子どもを守る会

主な活動としては

- 登下校時の見守り
- 登下校の付き添い
- マラソン大会の見守り
- 交通安全教室への協力
- あいさつ運動
- 紹介式・対面式等への参加

などです。このほか、総会を行ったり、情報交換会を行ったりする会もあります。



今回は、この中から屋代小学校区の「屋代安全・安心連絡会」の4名の方にお話を伺いました。**やしろみまもり隊**の安田さん、寺平さん、篠原さん、池田さんです。

Q みなさんは、どこで見守りをされているのですか？また、どうして見守り活動をやろうと思われたのですか？

(安田) 私は、今年で13年目になります。以前はふれあい公園の方で立っていましたが、神社から学校までの道が危ないと思って、主に神社のところで朝、見守りをしています。

(篠原) 私は9年目です。「屋代を語る会」に出席したとき、その時の教頭先生に誘われました。朝、子どもたちと一緒に歩いています。

(寺平) 朝の登校と、帰りの下校で見守りをしています。



(池田) 知り合いが登校時の見守りをやっていて、自分もやってみようと思いました。新聞などで子どもが危ない目にあうようなニュースが流れるので、見守り活動で役に立てたらいいと考えて始めました。週2回ほど、千曲警察署前の横断歩道や神社の前、高見町の交差点などに立っています。

Q 見守り活動をしていて、感じていることを教えてください。

(安田) 班長がしっかりと手を挙げて渡る班は、ほかの子もしっかりとやっています。でも、旗を出さない班長さんもいて、気にかかっています。

(篠原) 登校時、子どもたちが走らないように気をつけています。

(寺平) 下校時、児童館に行く子どもたちがとても危ないので、気をつけています。

(池田) 横断歩道で手を挙げるのが、あまりできていませんね。1年生は上手です。

Q 見守りをしていて、よかったなあとと思うことは何ですか？

(安田) 私はこの活動を好きでやっています。ボランティアであることがよいと思っています。

(篠原) 子どもたちから、自分も元気をもらっています。毎朝、往復5kmほど歩くことになり、自分の健康に最高ですよ。知らない人からも、「毎朝歩いている人ですね。」などと声をかけてもらうことがあります。

(寺平) 子どもたちといろいろな話ができて、とてもおもしろいです。

(池田) 子どもたちが、あいさつをしてくれるのがうれしいですね。だんだん覚えてくれて、「池田のおじさん」と言ってくれます。子どもたちから活力をもらっています。



屋代小学校 宮坂博喜校長先生より



いつも、ありがとうございます。子どもが、地域の方から見守られている、という安心感を持てることがありがたい、と思います。

安全を守る会の皆様、くれぐれもご自身の安全と健康に気をつけて、見守りをしてくださいね。

編集室の窓

6月下旬に、少年補導委員(ちくま青パト隊)と八幡小学校の先生、保護者とで一緒にパトロールをする「合同巡回」を行いました。すると、地域の公園で男の子が2人野球で遊んでいるのに出会いました。声をかけてみると、夏休みにアメリカから親戚の家に来ていた兄弟で、日本語も少しわかるようでした。

今、外国の方は特別な人や珍しい存在ではありません。多くの方が日本に住み、日本で働き、日本で学んでいます。

現代は、互いの違いを理解し、尊重し合いながら地域社会の構成員として共に生きていく「多文化共生」の社会です。隣人が外国人は、もう当たり前になっています。





～わたしのゆめ～



千曲市で学び、育っている子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

「私の夢」

戸倉小学校

6年

吉田 由奈

私の夢は海外でホームステイをして、現地の人と交流をすることです。どうしてホームステイをしたいかというと、自分の英語力を伸ばすためでもあるし、自分の人生に活かすためでもあります。私は、4年生の頃、英語の学習をしていたら、「なんか楽しいな。得意だな。やりやすいぞ。」と思い、将来は学習した英語を活かせるようなことをしたいと考えていました。5年生の夏に塾に入り、そこで英語を勉強していたらとても早く理解ができ、自分に才能があるのではないかなと思いました。そして、「将来は海外でホームステイをやってみよう。」と強く思うようになりました。英語力を伸ばすためには外国の方とたくさん話すことが大切だと思い、諦めないことを心に刻んで、夢を絶対に叶えたいと思います。

「わたしの夢」

治田小学校

6年

長坂 優花

私の将来の夢は、保育士になることです。理由は、幼い頃に、保育士さんが「これはいけないことだよ。」とか「怪我をしたらこうすればいいよ。」などと教えてくれたり、喧嘩をしていたら止めてくれたりして、たくさんのことを優しく教わったからです。子どもたちの世話をするのは、小学校の子ども達相手でも大変だと思うけれど、それよりも小さい、やんちゃな子たちのお世話をしていると、私もそうやって子どもたちに色々教えてあげたり、遊んであげたりしたいと思ったからです。だから、将来、私は保育士になりたいなと思っています。

「僕の夢」

更埴西中学校

2年

井浦 颯太

僕の夢は、チームのみんなと頑張って、目標である野球の県大会に出場することです。僕は軟式野球の更埴北クラブで、日々みんなと目標に向かって練習に取り組んでいます。練習中は集中力を切らさないように、一つ一つのプレーに全力でやっていますが、思うようにいかないこともあります。でも僕には野球が好きという気持ちと、同じ目標に向かう仲間がいるので頑張れます。目標を達成するには、今まで以上にチーム一丸となって全員野球で最後まであきらめずに、一つ一つのことを大事にして練習していきたいと思います。試合で練習の成果を発揮して、最高のパフォーマンスが県大会でできるようにがんばりたいです。それが僕の夢です



教育相談・生活相談のご案内

千曲市では、次のような相談窓口を開いています。

ちょっとした不安、疑問、お気軽にお電話ください。秘密は守られます。

児童・生徒の教育や発達について
＜市総合教育センター＞
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105
平日 9:00～17:00

青少年の生活について
＜千曲市役所＞
少年育成センター（生涯学習課内）
電話 273-1111（内線 4114）
E-mail: youth@city.chikuma.lg.jp